

令和7年度（2025年度）北海道砂川高等学校 学校関係者評価(令和6年度と令和7年度平均値の比較)

領域	評価項目・観点等			教職員 下段は前年	保護者 下段は前年	改善方策	達成状況	改善方策の適切さ			
	対象	重点目標	今年度の目標実現に向けた観点								
学校運営	信頼される学校づくり	①開かれた学校づくりに向けた校内体制の検討	・単位制の魅力や生徒の活動を周知するために、印刷物の発行、Webや各種メディア等を活用した広報活動は効果的になされたか。	2.6	3.1	PTA活動について、教職員側は積極的であったが保護者を巻き込めていない。参集型の総会の開催など、PとTが共に行動したり顔を合わせる機会を設けたい。	B	A			
			・PTA活動は活発になされたか。	2.2	2.7		意見等				
		②地域の負託に応える学校づくりの推進と地域との連携の強化	・学校評価の実施と結果を公表する等、説明責任は果たされているか。	2.7	3.0		教職員間の組織的な運営について、分掌間、学年間など横の繋がりが感じられる意見交換の場を設けていきたい。	H Pやnote、アプリを使用した情報発信により、学校の活動の活性化がみられた。PTAの活動について、参集形式の会が減少しており、コミュニケーションがとりにくい現状があるため、効果的な情報の発信の方法や参集の機会を増やしてほしい。			
			新規	新規	意見等						
	組織運営	学校課題の共有及び課題解決に向けた円滑な協働体制の確立	・教育の動向の把握や学校経営についての課題意識涵養のための情報提供、研修の推進がなされたか。	2.5	3.0	教職員間の組織的な運営について、分掌間、学年間など横の繋がりが感じられる意見交換の場を設けていきたい。		B	B		
			・効率的な各分掌や委員会組織が効率的かつ機動力を十分に発揮するための業務内容の検討がなされたか。	新規	新規			意見等			
		教職員の資質・能力の向上	学校の教育活動を推進させる活力ある教職員集団の構築	・教科指導力の向上をめざす校内研修の推進と、市内小中学校との連携を推進し、授業改善・学習評価の研究を深められたか。	2.1			3.0	新規項目があるため、今後の様子を見守りたい。教職員より保護者の評価が高く、教職員の向上心がみられる。		
				・教職員の働き方改革に、具体的な効果が認められたか。	1.9			2.6		意見等	
	教職員の資質・能力の向上	学校の教育活動を推進させる活力ある教職員集団の構築	・勤務規律厳守の啓発のため、日常の情報共有がなされたか。	2.4	3.0	教職員の働き方改革について、地域からの期待を具現化したり、生徒の成長を語り合うことのできる「やりがい」につながるような教員研修を行いたい。		A		B	
			・教職員の働き方改革に、具体的な効果が認められたか。	新規	新規			意見等			
			・勤務規律厳守の啓発のため、日常の情報共有がなされたか。	2.1	2.9			新規項目があるため、今後の様子を見守りたい。教職員のやりがいが生徒の意欲に繋がっていくと思う。			
			新規	新規	意見等						
教育活動	学習指導	①生徒一人一人の能力・適性を踏まえた基礎基本の確実な定着、自ら学ぶ意欲・態度の育成	・生徒の実態を的確に把握し、基礎基本の定着を目指す授業の質の保証と授業時数確保がなされたか。	2.7	3.1	学習指導についての評価の数が大き伸びた。定期考査を廃止し、生徒が自ら学ぶ姿勢や意欲が醸成できるような時間的な余裕を持たせたので、教材や課題の提供を行いたい。教育課程の編成や運用をより効果的なものにすべく、外部からの評価を得て、分析していきたい。				A	A
			・校内外での研修を深め、学習意欲を高める授業内容や方法の工夫・改善及び学習評価がなされたか。	2.4	2.7					意見等	
		②生徒の実態に応じた教育課程の編成、学習環境の整備	・家庭での学習習慣の確立に向けた取組がなされたか。	3.0	3.0		単位制の特色が生かされていると感じているが、より保護者や生徒に特色の理解ができる機会をもうけてほしい。教職員の校内研修の内容を聞いて、単位制や総合的な探究の時間の活動の理解が深まった。				
			・単位制の特色を生かした教育課程の編成を推進し、進路希望を踏まえ、選択授業や少人数指導等の有効活用がなされたか。	新規	新規					意見等	
	生徒指導	①合理性のある指導のもとでの基本的な生活習慣の確立	・生徒との対話を重視して、基本的な生活習慣の確立が図られ、各々の自律ある行動によって、校内規程の改廃が進められたか。	2.6	3.2	生徒の主体性を活かし、教員の手から離して委ねる生徒会活動を行った。教員が伴走するだけでなく、介入し協働できるような場面を増やしたい。				A	A
			・教育相談機能を充実し、いじめや差別を見逃さない組織的な対応が適切になされたか。	2.2	2.7					意見等	
		③生徒の創意工夫を生かしたホームルーム活動、生徒会活動の推進	・主体的なホームルーム活動、生徒会活動、委員会活動、部活動を促し、地域とも結び付いた活動の充実が図られたか。	2.9	3.1				生徒の主体的な活動が増え、生徒たちの顔が見えるようになった。大変ありがたいが、生徒たちに伴走し寄り添う先生方の大変さもうかがえる。		
			・主体的なホームルーム活動、生徒会活動、委員会活動、部活動を促し、地域とも結び付いた活動の充実が図られたか。	2.5	2.8					意見等	
	健康・安全指導	①生徒自身が健康的な生活を送る自己管理意識の育成と教育環境の整備の推進	・健康を主体的に考えさせるために、保健だよりの活用、保健講話の実施などの啓発・指導は効果的になされたか。	3.2	3.2	外部の人材も活用し、生徒が気軽に相談できる日常的な体制づくりと教育相談体制を組織的に運用していきたい。				A	A
			・生徒の健康状況の把握と健康の保持増進に向けた適切な指導、感染予防対策、教育環境の整備がなされたか。	2.4	2.8					意見等	
		②教育相談活動、特別な支援を必要とする生徒への支援の推進	・全校的な教育相談体制の構築と実施がなされたか。	2.8	3.0			地域の困り感のある生徒が、進学先に選択できる高校であってほしい。			
			・特別な支援が必要となった生徒へ対する組織的対応がなされたか。	2.5	2.7					意見等	
進路指導	①内発性を高め、進路実現を目指し常に挑戦しようとする意志を育む。	・関係機関の協力を活用して、3年間を見通した進路指導計画の策定と多様な進路希望に対応した進路指導体制づくりがなされたか。	2.9	3.1	効果的でタイムリーなキャリアガイダンスの年間計画を構築し、生徒のキャリアが年次ごとに段階的に形成されていくようにしたい。	A				A	
		・適切な進路指導を行うための資料収集や地域人材・教育力の有効活用によって進路ガイダンスの充実がなされたか。	2.8	3.2		意見等					
		②望ましい職業観、勤労観を身に付け、自己理解を深め、能力・適性を把握し、将来を積極的に考え、自ら解決する能力の育成	・講習の在り方の工夫・改善、スタディーサプリ等の有効活用等、学力向上を基盤とした多様な進路の保証がなされたか。	2.3		2.7	学習活動を将来につなげるために、定期考査廃止などでできた時間に自らの将来のための学習に臨める環境の整備に務めたい。				
			・インターンシップやジョブスタ事業等の円滑な実施により、適切な職業観・勤労観を育成するキャリア教育が推進されたか。	2.7		3.1				意見等	
	②望ましい職業観、勤労観を身に付け、自己理解を深め、能力・適性を把握し、将来を積極的に考え、自ら解決する能力の育成	・講習の在り方の工夫・改善、スタディーサプリ等の有効活用等、学力向上を基盤とした多様な進路の保証がなされたか。	2.2	2.7	地元の企業や行政との連携がとれており、より充実していくのではという期待感がある。						
		・インターンシップやジョブスタ事業等の円滑な実施により、適切な職業観・勤労観を育成するキャリア教育が推進されたか。	2.5	3.1		A				A	
		・講習の在り方の工夫・改善、スタディーサプリ等の有効活用等、学力向上を基盤とした多様な進路の保証がなされたか。	2.3	2.7		意見等					
		・インターンシップやジョブスタ事業等の円滑な実施により、適切な職業観・勤労観を育成するキャリア教育が推進されたか。	3.0	3.1		A			A		
・講習の在り方の工夫・改善、スタディーサプリ等の有効活用等、学力向上を基盤とした多様な進路の保証がなされたか。	2.2	2.7	意見等								

※ 青色部分は【教職員】の評価が前年度より0.5以上、上がった部分です。
 黄色部分は【保護者】の評価が前年度より0.5以上、上がった部分です。
 緑色部分は【教職員・保護者】共に、評価が前年度より0.5以上、上がった部分です。